セキ
1950-2020 ANNIVERSARY

Seki Gocoro

2020
08

No.1714

SEKI
広報せき

巻頭特集

みんなの「スキ」を地域のために

TOPICS

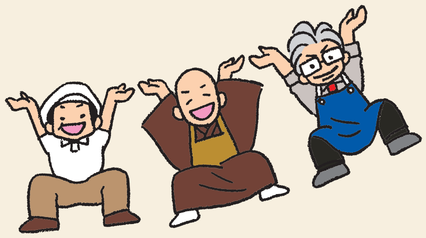
市制 70 周年記念式典 …… 6P
せきチケリニューアル販売 …… 8P
INFORMATION …… 18-30P
子育てカレンダー …… 33P

関心
Seki Gocoro

SEKI City Community Magazine

巻頭特集

みんなの「スキ」を地域のために



あなたの「スキ」ってなんですか？

あなたが好きなことって何ですか？スポーツ、読書、音楽、いろいろですよね。好きなことに係わる時間は、心を落ち着け、あなたの人生を豊かにしてくれます。そんな、自分が好きで取り組んでいることが、実は、誰かのためになるかもしれません。今月号では、「スキ」なことで地域に貢献する皆さんを紹介します。

ボランティアセンター

関市社会福祉協議会では、ボランティアセンターを運営しています。
ボランティアに関する業務（相談・情報発信）のほか、研修会、情報交換会なども開催しています。

ボランティアの相談

・ボランティアの依頼受付
・ボランティア活動の登録
・活動に関する相談

ボランティア情報の発信

・月に2回情報紙を発行
・ボランティア情報メールの発信（研修会やボランティアに関する情報を提供）

ボランティア講座の開催

・手話、点訳、傾聴、災害ボランティア研修など各種講座の開催

福祉教育の推進

・市内の小中高等学校、特別支援学校で、福祉体験学習を支援
・障がい者との交流の場の設置

ネットワークづくり

・交流会、情報交換会によるネットワークづくり
・活動を広げたい人を支援

企業の社会・地域貢献活動

・企業の社会貢献活動の支援、助言
・食料品会社のフードバンク事業への参加促進

　最近は、自分の好きなことをやる、自己実現の達成のためにボランティアをしている人が多くなっています。自分の趣味がボランティアにつながることがあります。ぜひみなさんも気軽に登録してください。

関市社会福祉協議会　伊藤良平（いとう りょうへい）さん

自然が「スキ」

今まで多くのハチを駆除してきましたが、危険とは常に背中合わせです。過去には、7か所を刺され、救急車で運ばれたことも！

それでも活動を続けようと思えるのは、感謝の言葉をかけてもらえるから。

この活動を通じて得た人とのつながりは代え難いもので、やりがいを感じます。

ハチ駆除ボランティア
河合勝行（かわいかつゆき）さん

ハチハンター
Bee Hunter

建築関係の仕事をしながら、ハチ駆除ボランティアをしている河合さん、76歳。

年間60件以上のハチを駆除され、依頼が殺到する時期（毎年7月頃から）には、ほとんど毎日、駆除に駆け回ることになります。

河合さんは、昔から自然と触れ合うことが好きだったこともあり、頼まれれば、ハチに限らず、へびやアライグマも駆除してきました。

ボランティアセンターへの登録は、知人から紹介されて3年ほど前になりますが、体が動く限り活動を続けたいと元気に話されます。

また、ハチ駆除に限らず草刈りやごみ出しのボランティアもされています。

※薬剤代や足場代（必要な場合）が必要です

※安全に配慮して撮影しています

河合さんに聞いた ハチ対策ポイント

むやみに攻撃しないこと
ハチから攻撃してくることはほとんどない

病気もハチも早期発見が一番！
巣が大きくなる前に撤去することが重要！軒下、植え込み、天井裏が作られやすい
一度自宅周りを見てみよう

人の集まるお寺が「スキ」

ここには、学校や家庭では会うことのない、いろいろな世代が集まることで、新たなコミュニティがつくられています。人と人とのつながりを考えてもらうきっかけの場になって欲しいですね。

子どもたちが「また寺子屋に行きたい」と言っていると聞くと、本当にうれしく思います。

もっとこういう活動が広がってほしいと願っています。

いちょうの会 代表
岡田英賢さん

圓通寺と観修寺（小屋名）の住職をしている岡田英賢さん。空き寺となった観修寺を約一年かけて清掃、修理、改築し、多くの人が集まるコミュニティスペース寺子屋「いちょう庵」を作り上げました。

ボランティアグループ「いちょうの会」が運営する「いちょう庵」では、子ども食堂やヨガ、高齢者が集う寺子屋カフェなどが開催されています。

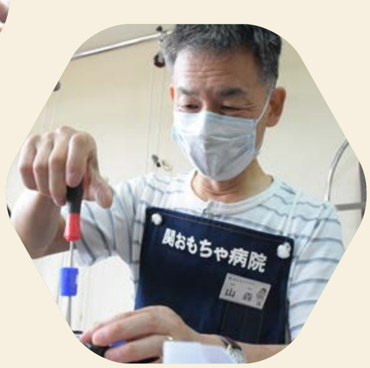
当初、現在の形はイメージしていませんでしたが、観修寺を掃除していくうちに、子どもから大人まで安心して笑顔があふれる場所にしたいと考えるようになりました。

この活動が、社会問題としてよく耳にする、高齢者のひきこもりや、学童保育の問題など、解決の一助となればと考え、活動しています。

寺子屋「いちょう庵」

new community space

- 寺子屋カフェ
  火・木曜日の午前中
- 子ども食堂
  火・木曜日の夕方～夜
- ヨガ
  第1・3月曜日の午前中
  第1・3金曜日の夜



関おもちゃ病院

seki toy hospital

おもちゃのことなら
私たちにお任せ!!

関おもちゃ病院は、故障したおもちゃを修理することで、子どもたちの「物を大切にする心」「思いやりのある心」を育みながら、同時に、リサイクル運動を推進することを目的としているボランティア団体です。

平成26年に開催されたおもちゃ病院のドクター養成講座を一緒に受講したメンバーで結成され、今は約20人。もともと仕事で機械の修理などに携わっていた人はいましたが、おもちゃの修理となると初めてのことなので、活動開始まで近隣のおもちゃ病院に足を運び、修理方法を学ばれました。

活動は月に4回程度、年間では約600個を修理しています。

おもちゃが壊れたら、無料で修理します !!

※部品代はご負担ください。

開設場所は、ホームページにてご確認ください。

おもちゃの修理が「スキ」

ドクターそれぞれに得意分野があって、互いに教えあいながら修理しています。

この活動の原動力は、何と言っても「おもちゃの修理が好き!」ということ。好きだから続けられますし、子どものうれしそうな笑顔が私たちにとって一番の報酬です。

関おもちゃ病院
包子賢一（かねこ けんいち）さん